

ふるさと納税 令和2年度の寄附金額 3,658万円 1,700件

～3年連続3千万円を突破しました！～

●令和2年度の実績

令和2年度は、寄附件数1,700件、寄附金額36,582千円。コロナ需要もあり寄附件数が昨年度より100件以上増となりました。地方別に見ると関東圏からの寄附が最も多く、全体の約6割の寄附件数となりました。

また、深浦サーモンの申込件数が昨年度より3倍に増え、寄附者が選ぶ人気の返礼品3位にランクインしました。

寄附者が選ぶ人気の返礼品トップ5

1位	天然本マグロ (株)あおり海山	23%
2位	ふかうら人参ジュース JAつがるにしきた 深浦事業所	18%
3位	深浦サーモン (株)あおり海山	11%
4位	ふかうら雪人参 (一財)深浦町食産業振興公社	10%
5位	ふかうら雪人参ビーフシチュー 食べ物屋 セイリング	8%

深浦町に寄せられた寄附金の推移

年度	件数	金額
H30年度	1,547件	39,619,000円
R元年度	1,577件	38,971,000円
R2年度	1,700件	36,582,000円

●寄附者からのメッセージを一部ご紹介

- ・コロナで大変ですが、頑張りましょう！子どもたちも頑張れ！！
(青森県)
- ・今年はコロナで様々な苦労があるかと思いますが、遠くから、少しですが今年も応援しています。(沖縄県)
- ・コロナ禍により観光業にも多大な影響が出ていると思います。深浦町の魅力発信で元気ある町となりますように、少しばかりの応援です。(東京都)

※当町に昨年度ご寄附いただいた寄附者のうち、公表をご希望された寄附者のご芳名を町HPにてご紹介しております。多数のご寄附をいただきありがとうございます。

返礼品募集中！

箱代、送料実質負担なし！
事業者の皆様、取り扱っている商品をふるさと納税返礼品として登録しませんか？

<問合せ先>

総合戦略課ふるさと納税担当
74-2122
furusato_nouzei@town.fukaura.lg.jp

ふるさと納税とは

ふるさと納税は、自分のふるさとや応援したい自治体に寄附を行うことで、町づくりに貢献できる制度です。寄附した金額のうち2,000円を超える分が住民税などから上限額まで控除されます。町では、1万円以上のご寄附をいただいた方に感謝の気持ちを込めて特産品を進呈しています。
※深浦町に住民登録している方及び法人は、ふるさと納税制度の対象外となります。



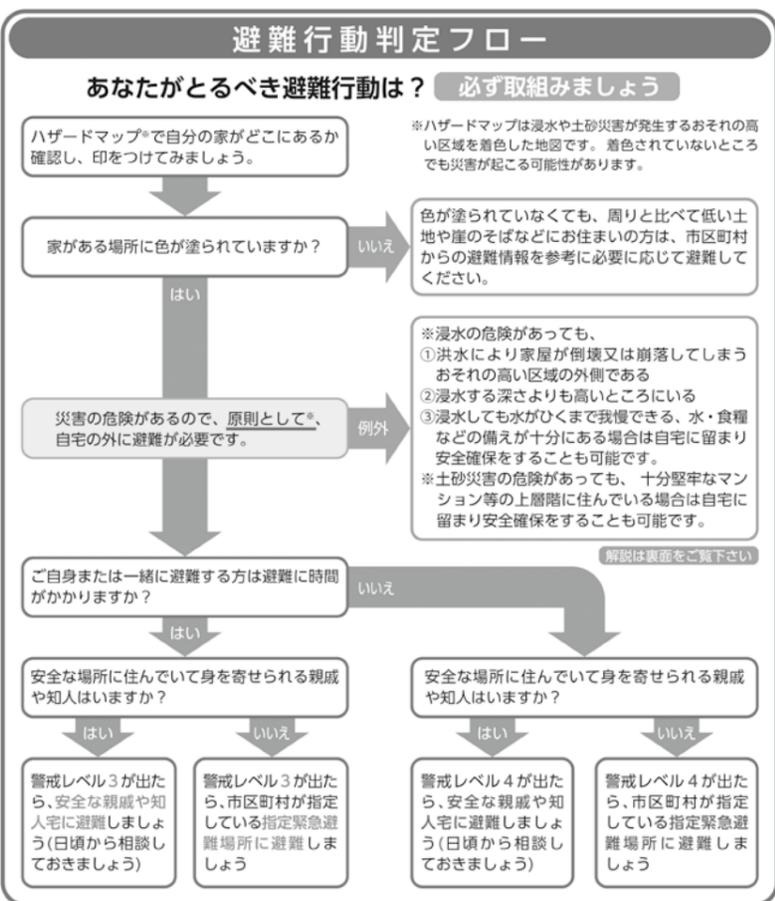
防災コーナー

●ご紹介する内容

連載4回目の今回は、前回触れた「正常性バイアス」に打ち勝ち、早期避難を行う一つの手段として「避難行動判定フロー」(以下、「判定フロー」と言う。)を紹介いたします。

●「自らの命は自らが守る」意識が最も大事

一般的には台風や豪雨の状況で身の回りに災害が起きそうだと、起きるかもしれないと感じた時等に「判定フロー」や「ハザードマップ」と併せて避難が必要かどうか、自分で判断することになりませんが、普段からこれらを確認しておきましょう。遅くとも気象警報が発表された、避難勧告等が発表された等の時は避難のタイミングが迫っていることを意識し、速やかに確認する必要があります。



ここで、最も大切なのは誰も「判定フロー」を見てくださいと言っはくれない点です。要するに「自らの命は自らが守る」意識が無ければこの行為にたどり着かないため、大前提となるのは、この意識を持つことに他なりません。

●知っておきたいポイント
避難を判断する前に、知っておきたいポイントを理解して「判定フロー」を活用しましょう。①

「避難」とは「難」を避けること、つまり安全な場所にいる人で避難場所に行く必要はありません。②避難場所は、小中学校や集会所だけでなく、安全な親戚・知人宅などへの避難も検討しましょう。③余裕があれば、毛布や非常食等の備品は携行しましょう。この際、安全な場所を確認する手段が、「ハザードマップ」です。深浦町では「ハザードマップ」に

「土砂災害警戒区域と津波浸水域」を示しています。この区域に自宅等が入っていて、その災害が予想される場合は、原則的に立ち退き避難が必要となります。但し、ハザードマップも一定の条件のもとに研究機関等が作成したものですから、表示された危険区域以外でも災害が起る可能性があります。このため自分が危険と感じたら避難することをお勧めします。(※ハザードマップは、毎戸配布ですが、町や県のホームページからも確認できます。)

アプリで簡単！

防災放送の内容が確認できます！

下記QRからインストールしてください。詳しい設定方法は4月16日発行の「深浦町防災行政情報伝達システム」紹介パンフレットをご確認ください。



アンドロイド用



iPhone用